

一人一人が活動できる社会へ

十年後、私達の生活はどう変化しているだろうか。

二〇三〇年には、産業革命時と比較して一・五度以上の気温の上昇が予測され、台風や干ばつ海面上昇に影響を与えるとされている。また、海洋プラスチック問題や石油資源の枯渇など様々な環境問題が深刻化してきている。これらの問題について関心をもち、知ることは大切だ。しかし、解決していくためには実際に行動しなくてはならない。私は今後、環境問題について知るだけでなく、行動していくことが不可欠であると思う。

では、私達にどのようなことができるだろうか。その一つは、日常生活での節約や環境への意識だ。エアコンの設定温度や、エコバックの活用など広く知られていることが多い対策だ。一番身近で取り組みやすいエ

コバックなどは、持ち歩く人を多く見かける。しかし、日常において、ポイ捨てが見られるなど節約や意識に十分な面が多くあるのが現実だ。これらを実際に解決するためには現在の何倍もの意識を世界の人々全員がもたなければならないだろう。現在にはない新しい取り組み方や手段が必要であると思う。

二つ目はゴミ拾いや、植林緑化活動などの直接的な活動だ。私も委員会活動でゴミ拾いを企画し、実施したことがある。道路脇や駐車場には沢山のゴミが落ちており、身近な地域でも様々な課題があるのだと実感した。現在、地域、自治体や様々な団体でボランティアとしての活動が行われている。しかし、それらはまだ身近ではない。私もゴミ拾いの活動後、地域で他に活動がないか

調べたが、周辺の市町村では参加できそうな活動は行われていなかった。何かできることをしたいと考えている人も多くいるだろう。活動を広めていくために、更にも多くの活動を企画、実施し身近に参加できる体制を整える必要がある。

ここまで二つの私達にできる行動を挙げたが、どちらも多くの人が実施できるようにするための工夫が必要だ。環境問題に対して多くの人が日常的な対策を行えるようにすること。ゴミ拾いなどの直接的な活動を増やし身近に参加できる体制を整えること。私は、これらの課題点をアプリケーションを活用して改善し、環境への活動を広げていけたらと考える。例えば、アプリと自宅の電化製品をIoTの技術などを活用して接続し、二酸化炭素の排出量や水の使用量などのデータを、可視化する。電気代、ガス代などを基に使用率の推移をグラフ化し節約状況や使用量を分かりやすくするなどだ。また、各地域や団体が行う活動をまとめカレンダーを作って見やすくする。個々のアカウントを通して誰もが活動を企画できるようにし、募集と参加申し込みをできるようにするなどのことも可能になる。こういった活動をゲーム

形式にしたり、活動を重ねることにポイントを付け、リサイクル製品やエコ家電のクーポンとしたりすることなどもできるだろう。インターネットは私達の生活において身近な物になってきている。このように、データや環境改善推移の可視化、団体だけでなく個人の活動の推進、継続して活動するための工夫をアプリケーションで行えば、環境への活動が増えていくのではないだろうか。

私は、環境活動を増やすためにアプリケーションを活用することを考えた。しかし、考え、思いつくだけでは環境は変わらない。そのため、私は高校卒業までに環境活動のためのアプリを作ってみようと思う。IoTなどは難しいが、未来の私達の環境を守るためには現在にはない、新しい取り組みが必要だ。私達には、私達が思っている以上に未来を変えて行ける力があると思う。知るだけでなく、アクションを起こすこと。それこそが私達にできることであり、今の環境に最も必要なことだ。未来の社会の一員として自分にできることを精一杯していきたい。